

標 題	平成30年度「しまね夏の花」品評会で若手生産者が中国四国農政局長賞を受賞
-----	--------------------------------------

(ダイジェスト)

平成30年7月27～29日に開催された「しまね夏の花」品評会で、斐川町のキク生産者である新宮麻衣子氏の輪ギク‘精の一世’が「中国四国農政局長賞」を受賞しました。

今年は、高温少雨の影響で栽培しにくい環境条件のなか、花のボリューム感や草姿のバランス等に優れ、商品性が高く評価されました。

J Aしまねと島根県花き生産者協議会が主催する「しまね夏の花」品評会が、ゆめタウン出雲で開催されました。一昨年まではトルコギキョウ単独の品評会でしたが、昨年からは切り花全般へ拡大され、夏の切り花の栽培・商品化技術の向上や「島根の花」のPRと消費拡大を目的として開催されています。

今年は、高温少雨の影響が心配されるなか、トルコギキョウ、キク、ケイトウ、リンドウ等102点の出品があり、斐川町のキク生産者である新宮麻衣子氏の輪ギク‘精の一世’が第1席である「中国四国農政局長賞」を受賞しました。花のボリューム感、葉の大きさと揃い、草姿のバランス等が優れ、その商品性を高く評価されての受賞でした。

新宮氏は、就農6年目で荒茅電照菊部会の一員としてキク栽培に取り組んでおり、産地からも大きな期待が寄せられています。受賞者挨拶では、「今年は、病害虫や暑さに苦労しているが、諸先輩方に指導していただきながら頑張っている。少しずつ規模拡大してきたが、今後は、生産性の向上を目指していきたい。」と抱負を語られました。

普及部としても、キクの安定的な生産・出荷ができるよう、関係機関と連携しながら支援を行っていきます。



中国四国農政局長賞受賞の新宮氏



輪ギク‘精の一世’